



CAMPUS

Vol.
142

2024 AUTUMN
奈良工業高等専門学校

令和6年11月発行

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報センター
TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)
ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimu.nara-k.ac.jp

ロボコン近畿地区大会 Aチーム優勝!全国大会出場! Bチームデザイン賞!



スポーツ大会



大縄跳び



バレーボール



テニス



バスケットボール



サッカー

C contents

巻頭言	02
新入生の声	03
奈良高専での生活	04
学生会新役員紹介・活動方針	05
クラブ・同好会紹介(卓球部・クイズ研究会)	
学生の活躍 全国大会出場報告など	06

グローバル教育センターから	08
社会実装研究教育の高度化	09
デジタルものづくり人材	
奈良高専発 STEAM教育	
学生支援センターから	
Library News	10
起業家工房の紹介	11

I information

- ☆ロボコン2024近畿地区大会
- ☆学生課窓口のご案内
- ☆キャンパスメンバーズ制度



奈良高専公式HP



奈良高専公式X(旧Twitter)



山口 賢一

寮務主事

2024年4月より、寮務主事兼グローバル教育担当校長補佐、高専プロコン奈良大会事務局長を拝命いたしました。私も皆さんと同じく奈良高専の学生として過ごした時期がありました。気が付けば学生時代と教員生活を合わせると、人生の半分以上を奈良高専で過ごしたことになります。私が入学した当時と比べると、高専を取り巻く状況は大きく変わりました。当時はまだパソコンが珍しかった時代ですが、現在はICT技術が急速に普及し、AIの進歩も伴って格段に便利な世の中になりました。一方で今まで当たり前だったことが通用せず、考えをアップデートしていかないとあっという間に時流に乗り遅れてしまう難しい状況のように思います。これまでの奈良高専の良い伝統を守りつつ、新しい時代に対応できる学校づくりに少しでも貢献できるよう、精一杯努めてまいります。

全国高専プロコン奈良大会について

令和6年10月19日と20日に、第35回全国高等専門学校プログラミングコンテストおよび第16回NAPROCK国際プログラミングコンテスト(高専プロコン奈良大会)が奈良市のなら100年会館で開催されました。この大会には、国内のほぼすべての高専が参加し、海外からもタイ、シンガポール、モンゴル、ベトナム、香港から計12チームが参加するという非常に大規模なものでした。

今回のコンテストでは、生成AIをうまく利用した作品が多く見られました。審査員の講評では「キュリオシティ・ドリブン(curiosity driven)」、つまり日常の疑問や興味から生まれた好奇心に基づいた点が評価されました。エンジニアとして「役に立つものを作りたい」という外発的動機的重要性とともに、「自分自身の好奇心」という内発的動機的重要性も強調されました。AIを使って効率よく問題を解決する「ゴール・オリエンテッド(goal oriented)」的な考えも大事だが、興味から発生する自由な発想こそ高専生の特徴だということを再認識できました。

皆さんも、学生生活の中で自分のやりたいことを見つけ、それをうまく表現してほしいと思います。その手段の一つ

として、今回のプロコンのようなコンテストは絶好の機会です。もちろん、取り組みを計画し、仲間を集め、準備することは非常に大変で、学業との両立も難しいですが、得られる経験は代えがたいものですので、ぜひ挑戦してみてください。

また、この大会には1000名以上の来場者がありましたが、奈良高専の教職員や運営補助をしてくれた学生たちが一丸となって取り組んだおかげで、大きなトラブルもなく無事に終了することができました。この場を借りて、関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。

グローバル教育センターについて

奈良高専では、プロコンのようなコンテストへの参加を応援する取り組みなど様々な形で学生さんの活動を応援する取り組みを行っていますが、シンガポールやタイ、台湾などの協定校に学生さんを派遣し、現地で交流を行う取り組みも実施しています。

このような活動を通して、様々な文化的背景をもつ人々と自由に意思疎通を行い、信頼関係を築きながら活躍することのできる技術者の育成を目指すのがグローバル教育センターの役割です。今回は、「学術交流の活性化」と「国際教育の活性化」の2つの取り組みについて紹介します。学術交流の活性化では、海外の教育機関との協定を結び、短期留学生の受け入れやインターンシップとしての学生派遣などを実施しています。「国際教育の活性化」では、グローバル工学協働プログラムGECEPおよび令和6年度以降の入学生に対するNeoGECEP事業を実施し、語学に触れる各種プログラムや特別講演会の実施、英語学習表彰を実施して学生さんの語学学習を応援する取り組みも行っています。加えて、海外への学生派遣プログラムとして昨年度に引き続き本年度も香港、シンガポール、タイへの学生さんの派遣を行います。学生の間に仲間とともにいける海外経験は非常に貴重で、いままでの参加者からも好評なプログラムになっています。今後も募集の際は、Teamsの掲示板等で案内します。適宜確認して積極的な参加をお願いいたします。

学寮の定員について

令和4年8月から令和5年3月にかけて実施した、学寮の機能と生活環境の改善を目的として実施した管理棟と飛鳥寮の改修工事を経て、現在奈良高専の学生寮の定員は男子99名、女子37名となりました。全国の国立高専のなかで最も少ない部類に入り、現時点の入寮者でほぼ定員を充足している状況です。このような状況の中、令和4年度入寮生(現3年生寮生)からは4年次進級時に途中退寮をお願いせざるをえないケースが出てきています。この状況を緩和するために、留学生のホームステイのように学生と近隣住民の方の世帯で同居をマッチングする事業である「大和郡山ソリデール事業」へ参画しているところです。寮生ならびに保護者のみなさまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



●高専に入学して

機械工学科1年 乾 旬 乃 介

4月に入学をしてはや半年、あっという間に時が過ぎてゆくように感じました。最初の頃は成績や新しい環境に不安を覚えていましたが、先生によるサポート、新しい友達との出会いで、その不安は消えていきました。

さて、機械工学科に入って、まず楽しみだったのが実習です。個人では扱うことのないような大きな機械、普段では使わぬような鉄材、どれも私の心を昂らせるものでした。実際、実習を行ってみると、むずかしいところ、おもしろいところなど、様々なことに気づくことができました。

部活動も機械の知識をつけることができる『からくり部』に入りました。長い活動時間の中で様々なことを知ることができました。時に大変なこともありましたが、挫けず頑張ること、新たな力を身につけられたのかなと思いました。

後期からも新たな発見、気づきを逃さぬよう頑張っていきたいです。

●入学式の宣誓者を務めて

電気工学科1年 矢 田 蓮

入学式当日はとても緊張したことを今も覚えています。今まで、全学生の前で話したことは一度もなかったからです。それでも、しっかりと宣誓者としての務めを果たせたと思います。友達ができるきっかけにもなりました。入学してから半年間、日々成長と驚きがたくさんありました。個性豊かな仲間と日々話したり、電子部品の買い物に行ったり、充実した半年間でした。学校になじめた後の初めての夏休みでは、仲間と電子工作をしました。失敗もありましたが、それを上回る努力と経験ができました。いま、入学式当時の自分に対して言うことがあれば「学校生活はこんなに面白いんだぞ」と伝えてあげたいです。まだまだ未熟ではありますが、仲間とともに、日々精進していきたいと思っています。

●初めての全国大会

電子制御工学科1年 佃 綾 一 郎

私は陸上部に所属しています。6月に近畿高専大会があり、100m走と4×100m走リレーに出場しました。全国高専大会に出るために日々先輩方からアドバイスをもらいながら練習に励み、技術を向上することができました。100mでは先輩や他校の選手が速く決勝6位という結果に終わってしまいましたが、リレーでは速い先輩方のお陰もあり2位に入賞して全国大会に出場が決まりました。全国大会はとてもレベルが高いので、バトンパスで他校に差を付ける練習をしました。しかし他校が速かったりバトンミスがあったりして、あまり満足のいく走りはできませんでしたが、来年に向けていっそう陸上に取り組みたいと思いました。

●経験のスタートラインに、立つ

情報工学科1年 村 井 友

専門科目の実習に対して、入学当初の私は不安を感じていました。専門科目に対する学習意欲こそあれど、私には実践経験と言うものがまるでなかったからです。しかし、周りの学生の中には経験を積んでいる、という人も少なくありません。事実、実習の授業を受けた時、私は経験のある仲間たちに助けられてばかりでした。正直に言って、経験の差を感じました。ですが実習の途中、「これをこうして……ってことで、やってみる?」と言われ、はたと気づきました。奈良高専には経験を積むための機会が沢山ある。だから、私はこれから経験を積むことが出来る。ならば、そこで感じるべきは経験の差ではなく、学習と実践に向かって走り出す、意欲なのです。

●将棋部について

物質化学工学科1年 岡 本 大 和

私は、将棋部に所属しています。普段、将棋部では、高専大会に向けて部員と対局して棋力(将棋の腕前)を向上させたり、将棋を楽しんだりしています。私はこの将棋部に入部して先輩方と対局していますが、様々な知識を持っていて、とても強いと感じました。また、先輩方の中には戦法や定跡、おすすめの本などをアドバイスしてくださる方もいて、非常に活動しやすい環境だと感じています。驚くことに、先輩方のなかには高専入学後に初心者として入部した方も多く、数年間という短い期間で高専大会において好成績を残せるほど強い方もおられます。私も先輩方に追いつけるように頑張っていきたいと思っています。



●工場見学

電気工学科2年 西村 鈴菜

私たち2年電気工学科は、パナソニックインダストリーへ工場見学に行きました。奈良高専のOBの方が働く姿を拝見し、コンデンサの製造過程や仕組みについて教えて頂きました。また、模型自動車に乗り、エンジンの稼働時やブレーキの作動時に製造部品が実際にどのように働くかを体感させていただきました。製品がPS5の部品にも使われており、bitを増やして高画質にする役割をしていることも教えていただき興味深く勉強になりました。最後に奈良高専のOBの方々への質問タイムがありました。その中で、OBの方が専門科目の授業の重要性について語られていたのが印象的でした。今後、さらに一層専門科目の勉強に力を入れてまいります。



●他分野を見る楽しさについて

電子制御工学科3年 石谷 仁

私は3年生になり、他分野に触れることは非常に楽しいことだと感じる事が多くありました。例えばS科の学生が多くいるシステム開発研究会に所属しつつM科の学生が主となって運営している「起業家工房



Hub×Fab」に運営スタッフとして関わっている普段の生活でももちろん、秋の工場見学でも事業が完全に他分野となる2つの企業を見学する中で自分の視野を広げることができ非常に楽しく感じられました。学内に絞ってみても、他分野に触れる活動することで自分の学科内では得られない刺激が得られ、人脈の広がりと同時に自分の知識、技術の成長も感じることが出来ます。他分野の活動に少しでも興味があれば参加してみてもはどうでしょうか。

●奈良高専での生活について

機械工学科4年 今村 匡輝

奈良高専の生活は私にとってかけがえのないものです。入学時は、他の高校と比べてクラス替えがないことに納得できない部分もありましたが、今では4年間変わらない仲間と同じ苦難を分かち合えることの有難みを実感しています。

また、工場見学やインターンを通して、「進路」に対して深く考える機会が増え、先生方の熱心なご指導のおかげで自分自身と向き合うことの大事さを知りました。

4年生になり、専門的な内容が増え、勉強はより難しくなりましたが、誰一人欠けることなく、全員で残りの学生生活を充実させていきたいと思っています。



●私のクラス5Cの絆

物質化学工学科5年 菊地 咲乃

私のクラスはとても雰囲気良く、勉強熱心な人が多いのですが、休み時間はいつも賑やかです。先生方からも「本当に仲がいいね」と言われています。そして、賢いクラスメイトが多く、学業面では助け合い、私はみんなのおかげで無事に5年生まで進級できました。また、困ったことや悩み事もクラスメイトに相談し、解決してきました。あと数か月で卒業のため、皆とは離れ離れになってしまいますが、これからもこの絆を大切にしていきたいと思っています。



●奈良高専での生活

専攻科 システム創成工学専攻
情報システムコース2年 渡邊 幹

私は専攻科一年の夏に本科在学時の研究内容を用いて国際学会への論文を提出しました。指導教員の先生をはじめ、共同研究先の企業の方にも支えていただき無事に書き上げることができました。10月頃に採択され、1月に海外で発表しました。英語は苦手な方で全然話すこともできず、本科では不可をとったこともあります。しかし、国際学会への参加をモチベーションに練習を重ねることで発表することができました。苦手なことでもまずは挑戦してみることの大切さを学ぶことができ、自信にもつながったため貴重な体験ができたと思っています。



学生会新役員紹介・活動方針

学生会会長：橋本 恵 宗(電子制御工学科2年)

学生会会長として、皆さんの意見を大切にしながら、より良い学びと成長の場を創ります。学校生活を楽しく充実したものにするため、学生全員が意見を出し合い、協力できる環境を整えたいです。失敗を恐れず挑戦し、皆さんと共に成長する学生会を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

学生会副会長：北代 翔 大(電子制御工学科3年)

この度副会長に就任しました、北代翔大です。これまで学生会執行部の一員として活動してきた経験を生かして、学生会執行部や学生の皆様の支えていけるよう頑張りたいと思います。

学生会副会長：工藤 陽 仁(電子制御工学科2年)

学生会副会長に就任しました、工藤陽仁です。学生の皆様の意見に真摯に耳を傾け、学校をより良くしていきます。短い期間とはなりますが、よろしくお願い致します。

学生会会計：岩川 一 平(物質化学工学科2年)

今年度は二年目の任期で会計役員となりました。前年度の経験を踏まえてこれまでよりも役員としての職務を全うできるよう頑張ります。

学生会会計：田中 彩 央 里(情報工学科1年)

こんにちは。会計に就任しました、田中彩央里です。会計という仕事に責任をもって、自分にできることを一所懸命努めさせていただきます。よろしくお願い致します。

学生会書記：鳥羽 己 瑠 生(機械工学科2年)

今年も書記に就任しました、鳥羽己瑠生です。2年生なので頼られるような役員を目指して、学生の皆さんが楽しく高専生活を楽しめるように支えていけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

学生会書記：横山 将 太 郎(情報工学科1年)

この度書記に就任しました、横山将太郎です。初めての書記業務で慣れないことも多いですが、精一杯の努力を重ねていきます。よろしくお願いします。



クラブ・同好会紹介 vol.30

体育部

アーチェリー
合気道
弓道
剣道
硬式テニス
硬式野球
サッカー
柔道
少林寺拳法
水泳
ソフトテニス
卓球
バスケットボール
バドミントン
ハンドボール
バレーボール
ラグビーフットボール
陸上競技

文化部

からくり
機械研究会
軽音楽
茶道
システム開発研究会
将棋
情報処理研究会
吹奏楽
美術
放送

同好会

化学同好会
合唱同好会
クイズ研究会
手芸同好会
生協学生同好会
数学同好会
電気技術研究会



卓球部

電気工学科5年 橋詰 尚 幸

こんにちは。卓球部です。私たち卓球部は月・火・水・木・土の週5日、第一体育館にて活動しています。練習では基礎練習に加えて課題練習の時間を多く設け、自主的に実力を伸ばせるような自由度の高いメニューにしています。また、定期的に部内戦を行ったり、オープン大会に参加することで、モチベーションの向上にも努めています。

今年度は惜しくも逃してしまいましたが、去年は男子団体の部において十数年振りに全国大会に出場することができました。女子団体の部においても、近年は近畿の高い壁に阻まれてしまっていますが、何度も全国大会に出場しています。

腕に自信のある学生や卓球が好きな学生は大歓迎です。一緒に全国大会を目指しましょう!



クイズ研究会

電気工学科2年 松橋 叡 優

こんにちは。クイズ研究会です。活動日は毎週火・木の週2で、普段は多目的室南(生協食堂の真上)で活動していますが、現在、情報工学科棟の改修工事のため、主に専攻科南棟講義室2で活動しています。

クイズ研究会で主に行うのは早押しクイズですが、ボードクイズをする、普段のルールを変えるなどして、様々な手法でクイズを楽しんでいます。また、初心者などのために特別ルールを設けることによって、誰でもクイズを楽しめるような場づくりに努めています。そのほか、年に1回ある高校生クイズに参加することは、最も楽しみにしているものの1つです。目標は全国大会出場ですが、やはり一筋縄ではいきません。クイズに自信のある方、クイズに興味のある方の入部を心からお待ちしております!

学生の活躍

令和6年度 全国大会など



柔道部

第59回全国高等専門学校柔道大会出場、
そして2回目の優勝!! 機械工学科4年 石田 眞子

8月24日から25日の2日間、函館アリーナで行われた第59回全国高等専門学校体育大会柔道競技に出場しました。

一昨年の第57回全国高専体育大会では初出場での優勝を飾ることができましたが、昨年の第58回全国高専体育大会では右膝の怪我の影響で思うようなパフォーマンスを発揮することができず3位となり優勝を逃していました。

今大会では、全試合1分からず一本勝ち、2回目の優勝を果たすことができました。昨年の試合の屈辱を晴らすことができ、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

夏季休暇中に貴重な時間を割いて練習に付き合ってくださった先輩方、遠方での試合に引率してくださった矢野先生ありがとうございました。応援してくださる方々に感謝し、これからも精進していきたいと思っています。



将棋部

第31回全国高等専門学校将棋大会について
機械工学科3年 渡利 世明

将棋部は8月28日から31日まで、福島県いわき市で開催された第31回全国高等専門学校将棋大会に参加しました。私が入部してから、全国高専将棋大会では、入賞に一步届かず、悔しい思いをしてきました。「今年こそは!」と各部員が練習したおかげで、今大会では優勝には届かなかったものの、3位入賞という成績を収めることができ、とてもうれしく思います。

全国高専将棋大会は棋力を競うだけでなく、他の高専部員との重要な交流の機会にもなっていると思います。このような大会活動や普段の活動を支えてくださる方々にこの場を借りて感謝申し上げます。
来年も勝ちます!



テニス部

全国大会に参加して

情報工学科2年 山口 紗音

8月21日から23日にかけて苫小牧市で開催された第47回全国高専テニス選手権大会に参加しました。石原春捺さんと山口紗音のペアでダブルスに出場し、第3位に入賞しました。先輩が寮生であるため、夏休み中は一緒に練習する機会が少なく、大変苦労しましたが、全国大会という大舞台で得られた経験は非常に貴重で、多くの強豪選手との試合を通して自身のテニスの幅を広げることができました。また、オープン競技として行われた地区対抗女子団体戦にも近畿地区代表として出場し、第3位を獲得しました。サポートしてくださった皆さん本当にありがとうございました。来年は優勝を目指して頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします。



システム開発研究会

WRO出場について

電子制御工学科3年 内海 陽光

私たちシス研は、2チームでWRO Japan (World Robot Olympiad) 奈良予選大会に出場しました。

本大会で、二年生チームが審査員特別賞を受賞しました。
二年生からのコメント:

Iさん: 私はこのような大会に出るのは初めてで、正直最初の頃はやり遂げられるかも不安でした。しかし共に活動する仲間がいたために、無事に大会に挑むことができ、ありがたいことに審査員特別賞もいただきました。今まで自分一人で物事を解決しようとしてきたので、仲間と共に成し遂げるという経験は、自身にとって非常に有意義なものであると感じています。この経験を糧にして自身の成長に繋げて行きたいです。

Tさん: 私たちが、より多くのポイントを得るために課題を解決する順番を考え、ほかの高校のチームが諦めていた課題を解決した結果、審査員特別賞を受賞することができました。チームで力を合わせて課題を解決するという経験を活かして、これからも頑張っていきたいです。



審査員特別賞の受賞式

令和6年度(前期) 学生表彰<特別賞>

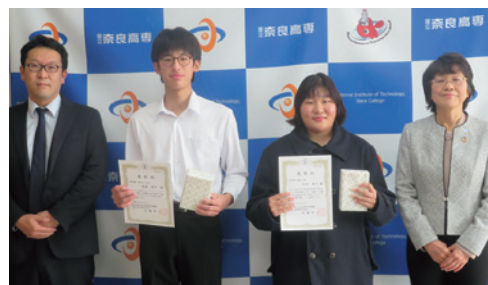
機械工学科3年 石田 眞子

第59回全国高等専門学校体育大会
柔道競技 女子・無差別級 優勝

物質化学工学科2年 渡邊 周平

化学グランプリ 2024 銀賞

※特別賞は全国大会またはこれに準ずる大会において、優勝または準優勝した個人または団体に授与されます



プログラミングコンテスト参加について

情報工学科2年 瀧口 大地

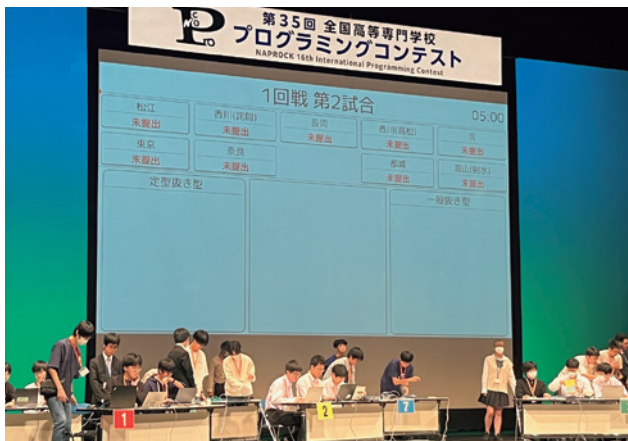
プロコン当日

初日はまず高専プロコン、高専のコミュニティの大きさに驚くこととなった。ある程度想像はしていたが携わる方々の人数や一度は聞いたことのある企業様に目を擦るばかりだった。本命の初日の競技部門では処理の大半がうまくいったのだが最後の送信するときの条件文にミスがあり正しく回答を送信できなかった。残念ではあったのだが、せっかくの機会であるため気持ちを切り替えて企業ブースや自由・課題部門の展示会場で説明を聞いたり名刺交換や雑談を楽しんだりした。

二日目は前日でのミスを修正して競技にリベンジした。敗者復活戦は1位2位のみが復活できるが結果は3位であった。こう聞くと惜しいように思えるがトップ層の処理効率は単純計算で我々の7～9倍であった。あまりに大きすぎる差に戦々恐々したことをいまだに覚えている。

まとめ

原点は私の気まぐれであったのだが、いざ参加してみると高専というコミュニティの持つ力を存分に楽しむことができた。始める時期や自分の情性など課題も多く見つかったので改善して来年も高専プロコンに参加してみたい。



情報工学科4年 崎本 俊治

私は全国高専プログラミングコンテスト課題部門に出場しました。去年も同大会に出場したのですが、本番当日までに作品が完成しなかったことが悔しく、リベンジの為に発起したことがきっかけです。チームをまとめる立場としてモノづくりをするのは初めてだったので悪戦苦闘しながらメンバーと作品を制作し、完成した状態で当日に挑むことができました。大会1日目では多くの企業の方や大学の教授の前でプレゼンテーションがあり、かなり大きなホールだったので緊張しましたが、メンバーとの連携により無事終えることができました。また、2日目ではデモンストレーション審査やマニュアル審査もあり、プレゼンよりは緊張しなかったのですが何回もするので結構疲れました。閉会式前には高専出身の方による特別講演会もあり、貴重なお話を聞いて自分が将来社会でどんな存在になりたいかを深く考えるいい機会になりました。閉会式ではクイズ研究会によるクイズや受賞作品の発表があり、直前までライバル同士だった他高専の方と一緒に盛り上がり楽しむことができ、本当に楽しかったです。最後になりましたが、ここまで引率教員としてサポートをいただいた上野先生に深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



化学グランプリに参加して

物質化学工学科2年 渡邊 周平

私は8月20～22日に秋田県で開催された化学グランプリ二次選考に参加し、選考の結果銀賞を獲得しました。当日の実験試験は制限時間内に糖に関する実験を行い、レポートを作成するというもので短い時間ではあったものの自分の実力を十分に発揮できました。また、二次選考では試験だけでなく全国各地から集まった学生たちとの交流する機会もあり、楽しく、有意義な時間を過ごしました。

最後に、1年生の時から化学の授業を担当してくださった先生方、今回の二次選考に向けての実験練習を手伝ってくださった先生方に感謝申し上げます。



学外研修について

専攻科 物質創成工学専攻2年 庄野 光咲

私たちはColt 京阪奈データセンターへ行きました。

普段は立ち入れない場所の見学をさせていただき、予想を超える膨大な量の電力を扱っていることに驚きました。また、サーバーが365日24時間稼働し続けるために、災害時に備えた立地や構造、停電時のためのエンジンなど様々なリスク対策が行われていることを知りました。

奈良高専卒業生との座談会では、私たち高専生の強みである専門性や、自分の個性をどのようにキャリアに活かしていくのかなどのお話を聞き、就職後の将来について考えるきっかけになりました。





グローバル教育センターから

在学中に海外への飛躍のチャンスをつかもう

グローバル教育センター長 松井 良明

奈良高専では、海外協定校と協力して海外派遣や海外学生の受け入れを行っています。とくに昨年度からスタートした「高専生の海外派遣支援事業」により、海外派遣へのより多くの経済的支援が可能となっています。海外学生との交流を積極的に行い、ぜひ在学中にグローバル・マインドを高める機会をもってほしいと思います。グローバル教育センター(図書館棟1階)では、皆さんが海外に行く機会を増やすために海外教育機関との協定締結を進めています。今年は、明志科技大学(台湾)、ドゥウォン工科大学(韓国)と新たに交流協定を締結しました。また引き続き、タイやシンガポールの新たな教育機関との協定締結も視野に入っています。皆さんにとっては、今が海外への飛躍のチャンスといえます。国際交流に関する案内は適宜、「学生掲示板」に掲示していますので、ぜひ定期的にチェックしてください。

シンガポールでの記念写真
(2024年3月)



香港IVE沙田校での記念写真
(2024年8月)



留学生自己紹介



電気工学科3年
ティウ

ティウ ジー カン
TIEW ZHI KANG

こんにちは。私はマレーシアから来た留学生のティウと申します。奈良高専で電気工学を勉強しています。私たちの生活を豊かにするために、電気工学が欠かせないから、電気工学科を選びました。日本で電気工学を学ぶことで、先端技術や最新の研究に触れることができると信じています。この分野で学び、将来的には新しい技術の開発や社会に役立つプロジェクトに携わりたいと思っています。

奈良高専で日本人の皆さんと一緒に勉強する機会があって、本当に嬉しいです。日本語はまだ上手ではありませんが、もっと上達したいと思って頑張ります。日本に来て、たくさんの友だちを作ったり、様々なことをたくさん経験したいです。これからよろしくお願いいたします。



電子制御工学科3年
カイ

タン カイ チェン
TAN KAI QIAN

こんにちは、マレーシアから来ました、カイです。日本に留学した理由は、幼い頃からアニメが大好きで、また、マレーシアにいる時に日本の製品の品質の良さや、お客様への心遣いに感動し、日本人の精神や考え方を学びたいと思ったからです。

現在、電子制御工学科を専攻しており、将来、自動化やロボットに関わる仕事をしたいと考えています。様々な知識を身につけ、社会や世界に貢献できる人材になることを目指しています。

今後も全力で頑張る、自分の国に恥じないように努力します。よろしくお願いいたします！



情報工学科3年
ウヌル

エレデネビル
ERDENEBILEG

ウヌルトフシン
UNURTUVSHIN

こんにちは、ウヌルと申します。モンゴルから来た、情報工学科の留学生です。日本に留学し、日本の文化や技術を学ぶことができ、楽しい時間を過ごしています。

モンゴルの情報の分野は情報技術者の必要が多くあるため、情報を勉強したいと思いました。そして、情報技術の優れた奈良高専に留学することができて、とても嬉しいです。奈良高専にいるうちに、勉強を頑張る、情報の専門知識を身につけ、卒業後はその知識を使って国の発展に努力したいと思っています。

色々な友だちができて、楽しい3年間を過ごしたいと思っています。よろしくお願いします。



物質化学工学科3年
ジア シン

タン ジャ シン
TAN JIA XIN

こんにちは、マレーシアから来た留学生のジアシンと申します。中学生の頃から日本の文化が好きなので、一生懸命勉強してやっと日本に留学する機会を頂きました。日本に来て、色々なことや日本文化を経験したいと思っています。日本語がまだ下手なのですが、高専にいる間に、たくさんの友だちを作ったり、日本語力を向上したいと思っています。

物質化学工学科を選んだ理由としては、元々高校時代から実験を好み、物質の反応や構造に深い興味を持ったからです。将来、奈良高専で身につけた新しい知識を生かして、この分野で活躍し、社会の役に立ちたいと思います。

これから3年間よろしくお願いいたします。



社会実装研究教育の高度化 ～卒研を通じたアクティブラーニングの可視化～

Gear 5.0 防災・減災(エネルギー)ユニット拠点校 ユニットリーダー 山田 裕久

令和3年度より奈良高専はGear 5.0 防災・減災(エネルギー)ユニットとして、特に1次エネルギー(太陽電池・熱エネルギー)や二次エネルギー(化学電池・燃料電池やリチウム二次電池など)の研究において社会実装を目的として更なる高度化を図り、その教育成果を可視化する取り組みをしてきました。ユニットとして、奈良を拠点校として、6つの協力校(苫小牧、鶴岡、長岡、和歌山、米子、都城)と連携したスケールメリットを活かした研究教育のモデルケースを創り上げてきました。特に、教育面では、教員が伴走しながら学生の主体性を伸ばす取り組みとして、卒研進捗の発表会や学びの実践としてイベントを企画してきました。高専生同士は複数高専でもすぐに打ち解けることができます。卒研発表会では互いに知恵を出し合い、意見交換が活発に行われていました。学生同士で、評価し合う場合でも偏りなく互いを認め合ったような結果となっていました。複数高専で奈良県の水素普及啓発イベントを開催した時も、阿吽の呼吸で助け合いながらこれまでに培った知識を実践することができ、来場者からも好評でした。高専大会よろしくそれぞれのイベント後はやる気に満ち溢れているようで研究に限らず教育面でもスケールメリットがあることを確信しました。本取り組みは、卒業研究教育の可視化という点でも重要な取り組みです。その他、様々な取り組みや成果については下記URLを是非ご覧ください。



URL:
<https://www.nara-k.ac.jp/k-smart/index.html>



第3回「紀伊半島～山陰横断」イオン液体コンファレンス
学生ワークショップ 続・計算化学編の様子

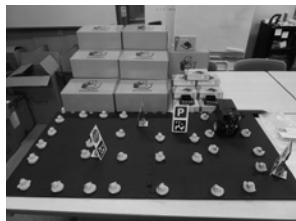


奈良県主催
水素エネルギー啓発イベントの様子

デジタルものづくり人財

教育支援センター長 谷口 幸典

高専機構は「デジタル空間で分析・最適化等を行い、それを物理(現実)空間にフィードバックしてより良い条件を構築する技術」を活用できる「デジタルツイン人財」の育成を推進しており、本校はその実践校として「デジタルものづくり検証ラボ」を機械工学科棟内に設置しました。必要な機能を実現するための力学的挙動をシミュレーションするソフトウェア、設計した部材を実体化するための各種3Dプリンタ、IoT協働ロボットアームなどがあります。これらは一部の授業で活用しているところですが、「起業家工房Hub×Fab」と同様、各種ものづくりコンテストなど正課外活動で学科・学年問わず使うことも可能です。興味があれば気軽に見学しに来てください。



奈良高専発 STEAM教育

～「しなやかエンジニア教育プログラム」を通しての学び～

女性エンジニア養成推進センター長 顯谷 智也子

奈良高専では、STEAM教育を内包する「しなやかエンジニア教育プログラム」を2019年度より実施しています。本教育プログラムでは、工学とは異なる分野の多彩な講義(伝統文化や心理学など)を通して、物事を様々な角度から捉え、新たな価値を創造するための「感性」と、それを形にする「表現力」を涵養します。これまでの専門分野における「掘り下げる教育」に加え、文理融合の中で幅広い知識と柔軟な発想力で価値連鎖を意識させる「つながる教育」を実現し、物事を俯瞰的にみる知識とマインドの醸成を目指します。

本年度より、東海・北陸・近畿地区内の複数の高専と連携し、高専におけるSTEAM教育の浸透と展開に取り組んでいます。



鈴鹿高専/奈良高専連携の小中学生への
早期STEAM教育～科学実験教室～

学生支援センターから

カウンセラーだより

<悩みがなくても大丈夫>

カウンセラー
(臨床心理士・公認心理師)
角田 悠至

はじめまして。角田悠至と申します。この4月より火曜日のカウンセラーとして勤務しています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、みなさまはカウンセリングとは何かご存知ですか?以前、小学生のお子さんに「カウンセリングって病んでる子が受けるんやろ?」と言われました。それも間違ではないかもしれませんが、べつに困りごとやしんどいことがなくても受けていただければと思っています。

きっとカウンセリングに興味を持たれた方には何かしらのニーズがあって、たとえそれが明確でなくても、そのニーズと一緒に探索して、カウンセリングで何ができるのかと一緒に考えていくこともカウンセリングの一部だと考えています。

最初からあれやこれやと話さなきゃいけないということはありませんので、見ず知らずの人に相談するのは不安だなあという方もとりあえずカウンセラーに会いに来ていただけたら嬉しいです。少しでもカウンセリングに興味を持ってくださった方は、お気軽に保健室までご連絡ください。

学生支援センター(学生相談)Webページ
<https://www.nara-k.ac.jp/life/shien/soudan/>



心の庭を整えよう

悩み事は、雑草に例えるとわかりやすいかもしれません。雑草は短いうちに刈れば簡単に処理できますが、放っておくとどんどん伸びて、刈るのが大変になります。同じように、悩みも小さいうちに誰かに相談すれば、解決策を見つけやすく、心も軽くなります。しかし、悩みを抱え込んでしまうと、気づかないうちに心が疲れ、問題がさらに大きくなってしまいます。だからこそ、雑草を早めに刈るように、悩みも一人で抱え込まず、早めに誰かに相談することが大切です。どんなに小さなことでも、早めに話すことで道が開け、日々が少しずつ楽になるでしょう。少しの勇気を持って、悩みを言葉にしてみませんか?それが自分を大切にすることの第一歩です。心がスッキリし、前向きな気持ちになれるはずです。

学生支援センター長 伊月 亜有子

支援ルーム
総合情報棟1階

月曜日～水曜日
9:00～17:00
木曜日
10:30～14:00





Library News

～図書館の活動をご紹介します～

芥川賞・直木賞候補作品 (1月・7月)

毎年1月と7月に発表される芥川賞・直木賞候補作品を購入し新刊コーナーに排架しますので、優秀な文学作品をぜひお楽しみください。



図書福袋 (1月)

学生図書委員等が選定した図書を袋に入れ、ヒントとなるメッセージとともに飾り付け中身が見えない状態で貸出をします。



学生図書委員会の活動報告

図書委員会委員長 機械工学科3年 加藤 良太

はじめまして。2024年度図書委員長の加藤良太です。

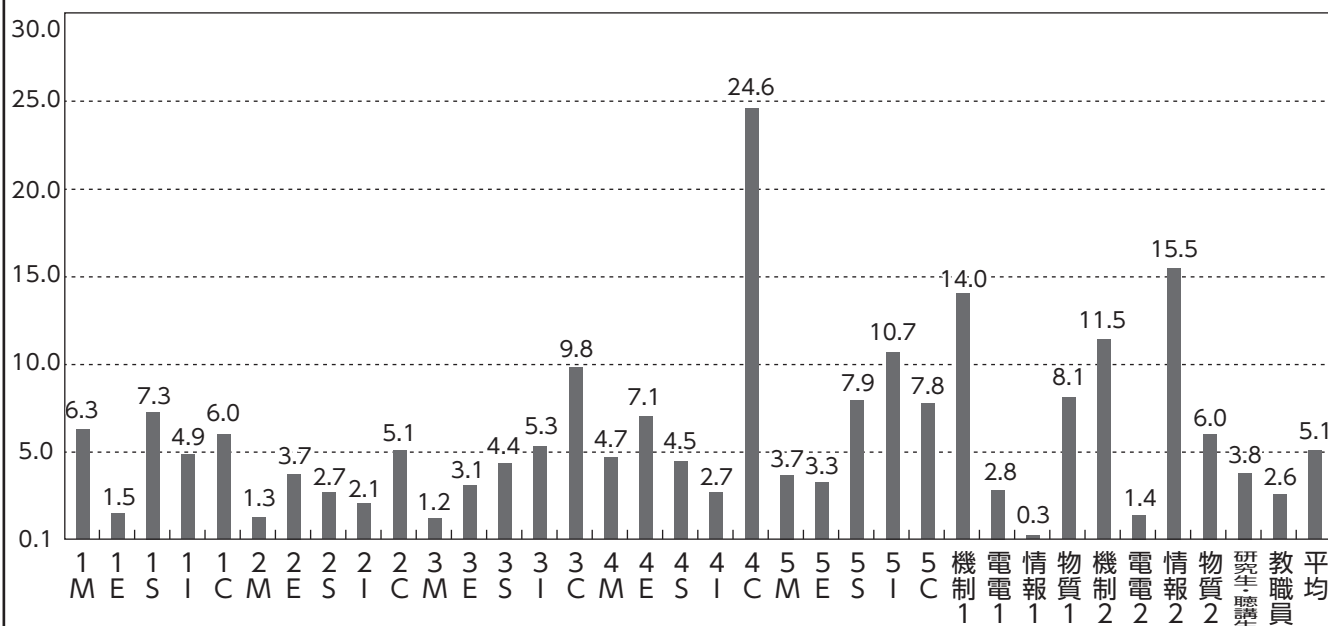
さて、今年も前期のブックハンティングがオンラインで行われ、各クラスの学生の方からたくさん本のリクエストを頂くことができました。その中には文学作品はもちろん、勉強やレポートや部活で参考にするのであろう技術の専門書や、趣味の本など、とにかく幅広い分野の本がたくさん購入されていました。この幅の広さは、学科や学年による高専ならではの特徴が色濃く出ていたと感じました。図書館1階にて、ブックハンティングで購入した本を揃えたコーナーが設けられているので、ぜひ皆様もご覧ください。そして、すでに貸し出しもできる状態となっているので、我々高専生が選んだ本を一度読んでみるのはいかがでしょうか。

私自身も図書委員としてブックハンティングで購入する本の選出を行っていました。その時気付いたのは、図書館には思ったより本が揃っていることでした。同級生からリクエストされた文庫本を購入しようと蔵書を確認すると、図書館の蔵書にすでにあるということが何度もありました。実際に図書館に足を運んだとき、まず気付くことは専門書の棚の多さだと思います。2階のフロアの半分ほどが様々な分野の技術の専門書の棚ばかりとなっており、入学してから初めて図書館を訪れた時にその量にとっても驚いた記憶があります。レポートや専門の勉強などで専門書を借りる機会はあっても、小説や文庫本などを目にする機会はあまりないかもしれません。しかし、案外文庫本などの文芸本の種類は豊富であり、ブックハンティングで最近話題のものが蔵書に追加されていたりすることが多いです。たまにはレポートや勉強のためばかりではなく、読書を目的に来てみてもいいのではないのでしょうか。

また、今年も年末に福袋プロジェクトを予定しております。普段から本を読む方も勿論、あまり読まない人も図書館に来てください。お待ちしております。

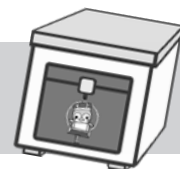
クラス別一人当貸出冊数(令和5年4月～令和6年3月)

合計冊数7,207冊



起業家工房の紹介

～起業家工房の機器をご紹介します～



プラズマカッター

導電性のある金属板を自動で切断してくれます。

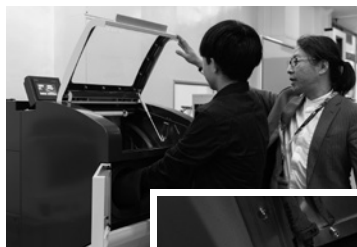


ハイブリッド5軸加工機

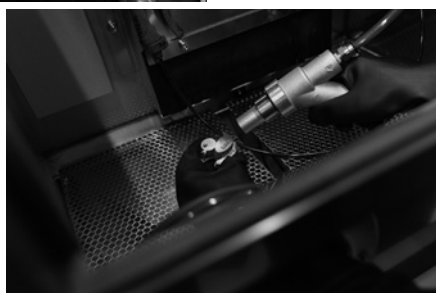
5軸加工の他、金属3D積層造形を1つの加工プログラムで実現します。



サンドブラスト

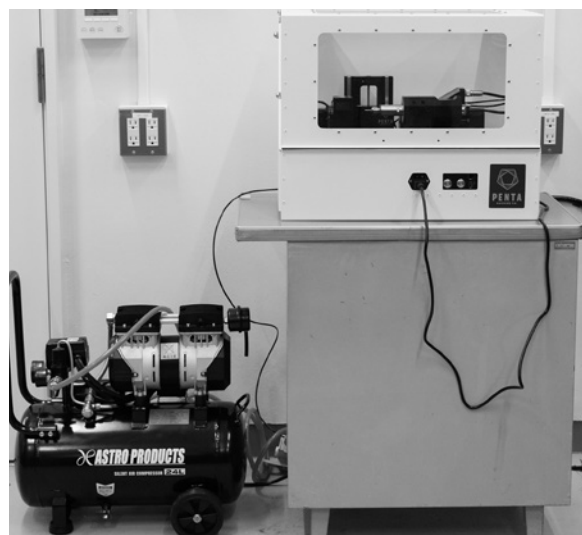


5軸加工や金属3Dプリンタで作成した部材のバリや表面酸化膜を取り除きます。



卓上5軸加工機

3D造形データのとおり切削してくれます。
(金属材料は不可)



ワークステーション

グラフィックカードを複数搭載して、超高速演算できる高性能PCです。



起業家工房の利用について



利用の手引き

起業家工房を利用したい場合、利用の手引きを確認した上で、予約システムから利用したい機器を予約してください。



予約システム



ロボコン2024近畿地区大会

Aチーム 電子制御工学科3年 三好 彩楓

10月6日、舞鶴文化公園体育館で開催された高専ロボコン2024近畿地区大会に出場いたしました。私たち3年生と2年生が中心のAチーム「射駒」、1年生が中心のBチーム「ダーリンが来た!」の2チームが奈良高専を代表して自慢のロボットを競い合わせました。

今年度の高専ロボコンのテーマは「ロボたちの帰還」。ロボットが別のロボットを飛ばし、その飛ばされた先でボールとボックスを回収した後、元の場所に戻ってくるという競技です。目標地点の中心に着地し、エリアの物資すべてを回収した状態で帰還すればミッションコンプリートとなり、その試合での完全勝利が決まります。私たちはできるだけ早くミッションコンプリートを果たすことを目的にプロジェクトを始動いたしました。ロボットを飛ばすことは見た目以上に難しく、競技課題を達成するまでに長い期間を要しました。ロボットを射出する機構や、着地時の衝撃の吸収方法、ボールとボックスの効率的な回収・帰還方法などの様々な要素に苦戦しながらも、試行錯誤を重ねロボットを作り上げました。大会当日、Aチームは地区大会初のミッションコンプリート達成で優勝し全国大会出場を果たし、Bチームはストーリー性や外装のデザインにこだわったロボットが評価されデザイン賞を受賞しました。

全国大会は11月17日に両国国技館で開催されます。奈良高専として初めての地区優勝&全国優勝の完全制覇を目標にメンバーともども全力で取り組みますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

最後に、この場をお借りしまして、私たちを日頃から支えてくださった先生方、事務職員の方々、そして応援してくださった方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。この恩を全国優勝という形で皆様にお返りするつもりで、より一層ロボットの改造に力を注いでいきます。



Bチーム 電子制御工学科1年 白鳥 千梅

私は、10月6日に開催された、全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)2024の近畿地区大会に、奈良高専Bチームのリーダーとして出場しました。

ルール発表直後からロボット製作の方針について意見交換を繰り返しましたが、一向にまとまらず、自身のリーダーとしての力不足を感じていました。しかし、先輩方の助言もあり、「エイリアンフィッシュ」のコンセプトに辿り着きました。そして、チーム全員が楽しむこと、しっかりと機能して人を魅了するロボットを作ること目標にロボット製作を始めました。

チームメンバーの殆どがロボット製作経験のない1年生で、当初は試行錯誤の連続でした。しかし、頼れる先輩方のサポートのおかげで、少しずつロボットの仕組みや加工技術が身につきました。また、ロボットのデザインも苦戦の連続で、初期のモデルは、「可愛い」からは程遠く、武骨で四つ目のモンスターになってしまいました。しかしそこで諦めず、コンセプトを大切に改良をすすめ、力強さと可愛さを兼ね備えたギャップ萌えな「ハニー」と「ダーリン」が誕生しました。

試合では、競技で使用するボールをタマゴに見立て、ハニーに感動の産卵シーンを演出させるべく、ダーリンが少なくとも1つのボールをハニーに渡す事を目標にしました。試合前は緊張や不安がありましたが、全員で励まし合い、試合に臨みました。勝利を収めることはできなかったものの、ハニーとダーリンは見事産卵シーンを見せ、観客に楽しんでもらえたと思います。

観客からも「ロボットの見せ方やチームの雰囲気がとても楽しかった」と感想をいただき、勇気づけられました。特に、デザイン賞の受賞が発表されたときは、驚きと喜びでいっぱいでした。自分たちの思い描いたロボットが形になり、動き、人々を楽しませ、評価されたその瞬間は、まさに夢が叶った素敵な時でした。

ここまで支えてくれた先輩方、先生方、Bチームの仲間、そして応援してくれた方々には感謝しかありません。これからも、優勝を目指すだけでなく、見て楽しい、作って楽しいロボットをみんなで作り続けたいと思います。



学生課窓口 のご案内

～保護者の皆様～

教務・入試係(教務) 0743-55-6033

授業、定期試験、教科書、学籍異動(休学・復学・退学・卒業)欠席・忌引・公欠・出席停止、大学編入学、専攻科、インターンシップ、学生証、住所・保証人等変更、在学・成績証明書 など

教務・入試係(入試) 0743-55-6032

入学試験、体験入学、入試説明会、研究生・聴講生 など

学生係 0743-55-6034

奨学金、高等学校等就学支援金、授業料等の免除・徴収猶予、課外活動、コンテスト、自転車・単車通学、免許、学割、通学証明書、就職 など

寮務係 0743-55-6035

寮生の生活、寮の諸経費、在寮証明書 など

保健室 0743-55-6172

保健衛生、カウンセリング相談予約、学生生活での怪我の保険 など

学生関係の担当窓口は次のとおりです。要件により該当する係の電話番号へ直接お問い合わせください。受付時間は平日8時30分～17時です。学生の呼び出しや伝言は行いませんので、あらかじめご了承ください。

キャンパスメンバーズ制度 是非ご活用ください

本校では、奈良国立博物館との連携による「キャンパスメンバーズ制度」を導入しています。

学校と国立博物館が連携を図ることによって、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供すること、世界遺産や美術に親しむ機会を増やすことで、より豊かな教養と感性を身につけていただくことを目的としています。

本校学生・教職員が学生証・職員証を提示することで、以下の特典を受けることができますので、是非この制度をご活用ください。

- 主な特典 ● 平常展・特別陳列の無料観覧 ● 特別展の観覧料金割引 など

特別陳列「春日若宮おん祭の信仰と美術」

会期：令和6年(2024)12月7日(土)～令和7年(2025)1月13日(月・祝)
※本イベントについては学生及び教職員は無料で観覧できます。

編集後記

植物が芽吹く春、生命が輝く夏、そして鮮やかに染まる秋へと季節が巡る中、奈良高専では多彩な活動が展開されています。今回のCAMPUSでは、学校行事や課外活動、プロジェクト、さらには国際交流などでの学生たちの挑戦を特集しました。また、Gear5.0やデジタルものづくり人財育成、STEAM教育に力を注ぐ奈良高専の取り組みについても紹介しています。新入生の声にあるように、ここには経験を重ねるチャンスが溢れています。この恵まれた環境を活かし、次の一步を踏み出してくれることを心から期待しています! 奈良高専広報センター

CAMPUS について

本校では、広報誌「CAMPUS」を11月と3月の年2回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ>学生生活>CAMPUS(広報誌))にも掲載しています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。